健康生活お役立ち新聞

横浜版

2020年5月

No.46

発行所　(有)エフ.アンド.ユアライフ　〒253-0084 茅ヶ崎市円蔵370-20　電話(0467)58-5678

病院にある専門病棟の種類について

急速に進む高齢化にともない、医療現場でより適切に対応できるように、時代とともに整備が行なわれています。その一つに、病院機能に応じて専門別に分類された病棟（病床）があります。

入院機能を有する医療機関の病棟には、種類がいくつかあります。

その中でも、通称「障害者病棟」と呼ばれている病棟について説明します。

厚労省「病院の機能に応じた分類（イメージ）」から抜粋、作成

「障害者病棟」とは

正式には「障害者施設等一般病棟」といいます。

疾患などによって重度の肢体不自由を抱えていたり、意識障害の状態や、神経難病、慢性腎不全で人工透析治療が必要となった患者などが入院して、専門的なケアの下で療養するための病棟です。

医療機関によっては、慢性的な病状や、重度の障害を抱えている患者のほか、地域の医療ニーズに沿った対応によって、維持期における呼吸器装着患者の受け入れなどを含めて、幅広く行なっている病院もあります（鎌倉市の「ふれあい鎌倉ホスピタル」など）。

療養に必要な環境を

長期にわたる入院が必要な患者が、その人らしく快適な療養生活を送れるように環境を整えることは、医療機関において重要なことであり、多くの病院現場では、病棟の看護スタッフだけでなく、多職種が連携して、治療・ケアを行なっています。

長期入院を経て、自宅への退院準備が整った患者や、他施設での対応が可能な状態になり、転院できるまでになった患者に対しては、円滑に退院できるように、医療ソーシャルワーカーなども関わります。

スムーズに在宅生活へ復帰できるように、地域社会において、包括的な取り組みが進められています。

現代の医療ニーズに対応

この「障害者施設等一般病棟」以外にも、「回復期リハビリテーション病棟」「特殊疾患病棟」「緩和ケア病棟」などをはじめ、専門的なケアと療養を実施している病棟が存在します。

高齢化が急速に進み、世界一の長寿国家となった日本では、複雑化している現代の医療ニーズに対応できるように、各医療現場で整備が進められています。

ふれあい鎌倉ホスピタル

最大100人の透析治療に対応、入院透析も

今春リニューアルした「ふれあい鎌倉ホスピタル」は、多機能病院として再開しています。特に鎌倉市や逗子市、葉山町にとって、同院の「障害者施設等一般病棟」は、地域医療に寄与する象徴的な存在となっています。

透析治療に強い地域病院

ふれあい鎌倉ホスピタル（河面吉彦院長＝今号「この人に聞く」に掲載）の「透析センター」では、人工透析（血液透析）患者の受け入れを、最大100人まで可能にしています。

また、血液透析を行なっている患者の多くは、3カ月以上の入院が困難となっている現状ですが、同院では、透析治療を継続しながら「長期療養」が可能な病院です。入院したままで、安心して透析治療を受けることができます。

さらに、がん末期や指定難病、特殊疾患の医療処置を必要とする場合も、その治療を続けながら透析を受けることが可能であるほか、脳卒中や骨折の手術を経た透析患者に、リハビリテーションが必要な場合は、専属のリハビリ療法士から集中的なリハビリを入院透析中に受けることができます。

通院での透析治療（外来透析）はもちろん可能で、ショートステイもあります。

透析センターのスタッフは、「『信頼の技術と、安心の治療』をモットーに、当センターを運営しております」と話しています。〈取材協力〉

各種入院が可能

入院病棟は、「一般病棟」「回復期リハビリテーション病棟」「障害者施設等一般病棟」を有し、複雑化している医療ニーズに対応できるように設置された医療環境です。

特に「障害者施設等一般病棟」は、鎌倉市や近隣の逗子市・葉山町になく、これまで遠方の病院を受診して入院手続きをとってきた地域住民から、「遠くの病院へ行かなくてすむようになった」との声が届いているといいます。同院スタッフは「療養生活において、患者さまがその人らしく、快適に過ごせる環境を整え、多職種間で連携してケアにあたっております。

「透析センター」と担当スタッフ

入院期間は定めておりませんが、ご自宅への退院に向かわれている患者さまや、他施設での対応が可能になり転院準備が整った患者さまに対し、丁寧なお手伝いをさせていただいております。在宅支援（訪問診療・訪問看護・訪問介護・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所）のサポート体制もしっかりしておりますので、お気軽にご相談ください」と話しました。

初夏から注意！手足口病とヘルパンギーナ

小児の感染症で、この時期に注意を要するのは「手足口病」と「ヘルパンギーナ」です。特徴や感染経路を知り、予防していきましょう。

■症状

手足口病・ヘルパンギーナのどちらも、口腔内に水疱ができます。手足口病の水疱は、手足のほか全身に広がる傾向があります。それに対しヘルパンギーナでは、口腔内の発疹のほか、突然39～40℃の高熱が出ます。手足口病は、発熱しても37～38℃程度で、発熱しないケースもあります。

■感染経路

くしゃみなどからうつる「飛沫感染」や、ウイルスに触れる「接触感染」、糞便から手指を介して経口感染する「糞口感染」があります。日頃の注意が大切です。

■治療方法

手足口病とヘルパンギーナには、残念ながら現在は特効薬がないという現状です。脱水症状を起こさないようにして、対症療法で治癒を待つことになります。口腔内の発疹の痛みで、水分や食事の摂取を嫌がってしまうこともあるので、刺激の少ない柔らかい食事や、十分な水分補給に配慮することが必要でしょう。

乳幼児のいる家庭　手足口病・ヘルパンギーナ対策

初夏～秋にかけて注意しましょう

- こまめに手洗いをしましょう
- 咳やくしゃみのエチケットを守りましょう
- おむつ交換時に注意をしましょう

＊タオルの共用も避けた方がよいでしょう。

康心会汐見台病院

小児の救急、24時間365日対応

取材協力

康心会汐見台病院の小児科は、地域のニーズに合わせた専門外来やカウンセリングを行なっています。同院のスタッフにお話を聞きました。

「地域に寄り添っていきます」と話す同院・小林尚明小児科科長

（汐見台病院スタッフ）「当院の小児科では、新生児医療から夜間の救急医療、特殊外来診療を体系化し、入院患児さまの受け入れ・検査・治療を円滑に行なっております」

――小児科の外来診察体制を教えてください。

「小児科は、常勤医師6名（小児科指導医3名）、非常勤医師7名という体制〈2020年4月現在〉で、月～土曜日の毎日、外来診察を行なっております。24時間365日の救急診療にも対応しております」

――とても充実していますね。入院もできますか？

「はい。入院環境も充実させています。例えば、感染力が強い疾患に対応できる『陰圧個室』も設置しています。

また、当院の全ての専門外来は専門医や指導医が担当し、大学病院所属医師による小児循環器と小児精神の診療もあります。このほか、小児神経／アレルギー外来（食物アレルギー・アトピー性皮膚炎）／腎外来／内分泌外来（甲状腺疾患・低身長）／血液外来／未熟児シナジス外来を開設しております。

さらに、地域で開業されている医師（専門医）と連携し、専門外来の一部をご担当いただくことで、保護者の方々が安心して子育てできる環境作りにも寄与しております」

――地域で馴染みの先生方との連携は、大きな安心感につながると思います。

「当院では『心のはぐくみ診療部』を設置して、所属の臨床心理士4名が、月～土曜日の毎日、育児や心身の発達に関する相談に応じております〈午前／午後に予約可能〉。

発達検査やプレイセラピー、カウンセリング（対象は親または子）も行なっておりますので、お困りの際には、是非ご相談ください」。

～康心会汐見台病院・小児科の診療展開～　受診予約　☎045-761-3587（月－土 8:00～17:00）

一般外来　乳幼児健診　予防接種

専門外来　地域の医師と連携

- 小児循環器
- 小児神経
- 小児精神
- アレルギー外来（食物アレルギー、アトピー性皮膚炎）
- 腎外来
- 内分泌外来（甲状腺疾患、低身長）
- 血液外来
- 未熟児シナジス外来

心のはぐくみ診療部　臨床心理士の相談

診察開始　AM9:00／PM2:00

一般外来	月	火	水	木	金	土
AM	●	●	●	●	●	●
PM	●	●	●	●	●	

横浜市磯子区汐見台1-6-5

汲見台病院居宅介護支援センター

ケアマネジャーに相談して 安心の介護生活のスタートを！

磯子区にある「汲見台病院居宅介護支援センター」は、介護の相談窓口です。各種申請の代行やケアプランの作成、介護サービス事業者への連絡・調整など、安心して介護制度を利用するために、ケアマネジャーが相談にのっています。

突然やってくる介護

高齢の家族を抱える家庭にとって、その家族の病気やけがは、ある日突然やってきます。容態によっては、入院・入所や、在宅介護が必要になるケースもあります。

そのような時に、初めて介護保険サービスを利用する人が多いのですが、まず第一歩目に、何をしなくてはならないのかを知らない人がとても多いようです。

申請とプラン作成から

まず必要なのは、「介護保険の申請手続き」（介護保険サービスを利用したいことを示す）です。それから利用内容を見極めるために、介護の状態を確認する「認定調査」があり、多くの場合はケアマネジャーに「ケアプラン」を作成してもらい、訪問介護などのサービスが始まります。

介護サービスには、福祉用具の貸与や購入、住宅改修（小規模）に対する給付もあり、介護対象の本人だけでなく、自宅で介護する家族にとっても負担軽減になる内容も含まれています。

介護サービスの窓口であり、ケアマネジャーの拠点である「汲見台病院居宅介護支援センター」では、各種申請や、介護サービスの利用と効果的なプランの立案などを、介護者本人や家族の希望に基づいて、検討していきます。

介護については同センター（上記連絡先）へご相談を！

この「人」に聞く

気さくな雰囲気の中にある 力強いリーダーシップ

河面 吉彦 医師
（こうも よしひこ）
ふれあい鎌倉ホスピタル 院長
【脳神経外科】
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医

○…全棟改修工事を経て、今春にリニューアルオープンした「ふれあい鎌倉ホスピタル」で院長を務めています。これまで脳神経外科医として脳動脈瘤のクリッピング術や脳腫瘍の摘出術のほか、脳卒中の急性期治療から回復期のリハビリテーションに至るまで、多くの内容を担当してきた実績をもち、リハビリの専門病院では、院長としてスタッフの勉強会を開催するなど、リーダーシップを発揮。

「当院でも今後、院内外に向けて、リハビリや脳についての講座を開催していきたいです」と、意欲を語ります。

○…一度は工学部に進学し、電子工学を研究した経歴をもつ河面院長。「電気回路のように人間の脳の司令系統ができていることや、人間という生物に興味があって、DNAの研究や分子生物学にチャレンジしようと、医学部に再入学しました」。専門的な内容も例を使ってわかりやすく解説し、平たい言葉で話します。「脳の仕組みを学んだことから、脳神経外科の道に進みました。今は、脳神経分野からアプローチするリハビリテーションの方法や、若年層から必要な認知症予防の重要性について、深く考えています」。

○…院長として「働きやすい環境作り」にも精力的です。「働きやすい職場というのは、その反面で、スタッフ各々が直面する問題に、果敢にチャレンジし、人間的に成長していくことが必要なので、しっかりとサポートしたいと思います。また、医局や院内の各委員会に対しては、必要に応じて統合的な方向性を示し、地域医療により良く貢献できる体制を構築していきたいです」。座右の銘を聞くと、「人生、いつまでもチャレンジ」と即答。「何かにトライし続けることで脳からエネルギーが放出されるので、脳神経外科医としては、認知症予防にまず実践しないとね」と、笑顔を交えて語りました。

汲見台病院
居宅介護支援センター
ケアプランの作成
介護認定申請の代行
市町村からの委託の認定調査
介護保険に関するご相談は、何でもお尋ねください。
利用は無料*です
（ケアプラン作成費は、介護保険で全額負担）。
＊居宅介護支援に関するサービス利用料金について、事業者が法律の規定に基づいて、介護保険からサービス利用料金に相当する給付を受領する場合（法定代理受領）は、ご利用者の自己負担はありません。
介護保険サービスを利用するためには…
利用の希望
市町村へ申請
認定調査を受ける
「要支援1・2」「要介護1～5」の認定
ケアマネジャーの決定
（居宅介護支援センターなどで相談可能）
ケアプランの作成
介護サービスの利用開始
福祉用具レンタル
（小規模）住宅改修
TEL 045-761-3591
問合せ 9:00～17:00（土・日・祝を除く）
横浜市磯子区汲見台1-6-5（康心会汲見台病院内）

ナーシングローズヴィラ鎌倉

家庭的で安らぐ老人ホーム

資料請求を受付中

◇◇◇◇◇◇

小規模ならではのアットホームさが人気の老人ホーム「ナーシングローズヴィラ鎌倉」では、個別の入居相談に対応しています。

介護付有料老人ホーム「ナーシングローズヴィラ鎌倉」は、鎌倉の地ならではの落ち着きある時間の流れの中で、自分らしい生活が送れます。特に評判なのは、館内の家庭的で温かい雰囲気。スタッフが家族のように接してくれるので、「いつも誰かがそばにいる」という心和む暮らしに、満足している入居者が多いといいます。

生け花

季節感ある楽しいイベント

昼食を兼ねた外出イベントや、生け花・歌唱などのレクリエーション、年間を通じて「新年会」「納涼祭」「敬老会」などがあり、この催しは、家族も参加して、毎年、盛大に行なわれます。

頼れる医療サポート

運営母体が医療グループなので、連携病院などが多く、小規模なホームであっても、医療サポートがしっかりしています。リハビリテーションでは、連携病院から理学療法士が来館して、希望にそった病院並みの「個別リハビリ」や、入居者みんなで行なう楽しい「集団リハビリ」など、日々の健康管理について手厚いサポートが受けられます。

◆個別相談を随時受付中
◆資料請求・お問合せ先
ナーシングローズヴィラ鎌倉
☎0467・42・8666
鎌倉市上町屋733の1

運動会

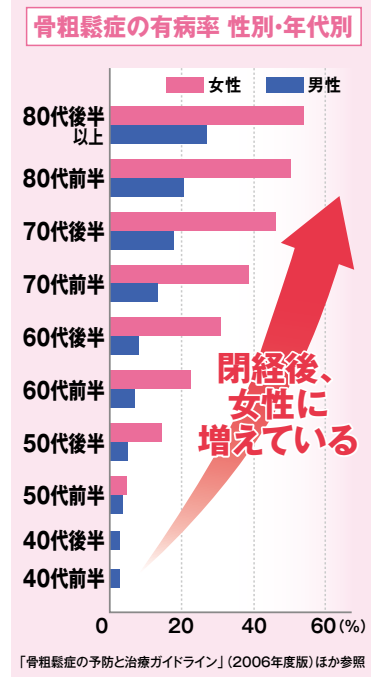
介護と医療の安心感を
自分らしくコラボレーション
お元気な方も、介護が必要な方も、ここから新しいシニア生活が始まる——。
住宅型有料老人ホーム
シニアホテル東戸塚
サウスウイング
見学会日程
第1弾 5／23(土)～5／31(日)
第2弾 6／6(土)～6／14(日)
万全な医療サポート
隣に立つ地域病院「ふれあい東戸塚ホスピタル」と24時間365日にわたる連携体制を確立
介護施設の密集地
ケアマネ・訪問看護・訪問介護・通所リハビリ・デイサービス・福祉用具レンタルなどの事業所が近隣に集中
プライベートも集団も楽しむ
最も多い居室「タイプA」はかなり広めな24.8m²。展望レストランでの食事、リハビリ体操などのイベントも充実
前払金 1,700万円～
月額利用料 22万5,349円～（管理費・食費含む）
居室例 タイプA 24.8m²
初夏のうららかな時間を体感してみませんか。
個別見学が可能です。お気軽にお問合せを。
「施設」ではなく「住まい」を
実感する優雅な空間
品格ある中庭、ゆったりとした居室、充実の外気浴に囲まれた住まいを貴方へ——。
介護付有料老人ホーム
シニアホテル東戸塚
イーストウイング
個別相談受付中!
自然の光が包み込む
中庭が望めるスペースは読書や歓談の場として人気の空間
落ち着いた雰囲気に癒される
屋上庭園や中庭は飽きのこない開放感と静寂が同居する
素晴らしい眺望までも日常に
9階展望レストランやテラスからは横浜港まで見渡せる
前払金 1,650万円～
月額利用料 20万2,720円～（管理費・食費含む）
居室例 タイプ2 21.9m²
シニアホテル東戸塚
住宅型 サウスウイング
介護付 イーストウイング
フリーダイヤル 0120-35-2240
横浜市戸塚区上品濃16-15、16-8
交通アクセス
電車の方 JR「東戸塚駅」西口から無料シャトルバス5分（徒歩で同駅西口から15分）
お車の方 横浜新道「川上IC」または「今井IC」から5分（無料駐車場をご利用ください）
サウスウイング
イーストウイング
湘南医療大学
シャトルバス乗り場
西口
東戸塚駅
横浜新道
品濃橋

骨粗鬆症の予防には、検査が一番！

高齢になればなるほど、骨粗鬆症のリスクは高まります。ほぼ自覚できない病気なので、ちょっとしたことで骨折して、初めてその発症に気づく人が多いです。意識的に検査を受け、予防に努めましょう。

「骨粗鬆症」とは、骨密度が低下して、骨が折れやすくなる病気です。

日本国内において、この病気に該当する人の数は、自覚がない人を含めると1100万人以上も存在するといわれ、その8割は女性と考えられています。



「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」（2006年度版）ほか参照

高齢女性に多い

高齢の女性に発症が多い理由は、閉経によって女性ホルモンが少なくなり、新しい骨を作る働きよりも古い骨を壊す働きが進み、骨代謝のバランスが崩れることが背景にあります。

立ち上がっただけで折れる

骨粗鬆症は、骨が脆くなっていても、痛みがないまま静かに進行していくことが多いです。その性質は、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病と同じで、自分ではわからないうちに進行していきます。

自覚がないのでどんどん進んでいき、しりもちや椅子から立ち上がるという行為だけでも、脆くなっている背骨にとっては耐えられない負荷になり、圧迫骨折が起きます。

圧迫骨折が生じると、背骨が曲がり、身長が縮んだり、痛みが出てきます。

まずは予防意識をもつこと

骨粗鬆症の対策として、日常生活でできること＝**下参照**＝もありますので、各自で実践していきましょう。

骨粗鬆症は、なかなか自分では気づくことができない病気なので、早期に発見できるように、自ら骨密度などの検査を受けて、早めに治療が始められる予防意識をもつことが大切です。

治療は、栄養指導やリハビリテーションも一緒に受けられる医療機関が良いでしょう。

ふれあい東戸塚ホスピタル
「整形外科」外来診療を充実化

ふれあい東戸塚ホスピタルでは、この春から、整形外科の外来診療を充実化させています。成長期のスポーツ障害・外傷から、高齢者に多い骨粗鬆症まで、世代に合った診療を行なっている黒沢秀樹医師に伺いました。

黒沢 秀樹（くろさわ ひでき）医師
ふれあい東戸塚ホスピタル
整形外科
北海道大学医学部卒
- 医学博士
- 日本整形外科学会 整形外科専門医
- 日本整形外科学会 認定運動器リハビリテーション医

Q. 整形外科は、幅広い世代が受診する診療科だと思いますが、世代によって、疾患は異なりますか？

A. 学生においては成長痛など、高齢者では骨粗鬆症などをはじめ、世代による特徴的な疾患はありますが、これら全てが「運動器の疾患」であり、それを対象にしているのが整形外科です。

成長期の傷害や外傷は、スポーツ障害・外傷とともに日常的にあります。開放性骨軟部損傷や血管損傷は、急性期の対応が重要になります。

現代は高齢人口が増えているので、老化による骨・関節の老人性疾患および骨粗鬆症を原因とする生活の質の低下によって、快適さや喜びが失われることも少なくない時代です。そのようなお困り事に対応することも、整形外科の診療内容の一つだと思っています。

Q. 高齢者に多い「骨粗鬆症」は、なぜ注意を要する危険な病気なのですか？

A. 骨粗鬆症の高齢者には、「脊椎圧迫骨折」がとても多いからです。背骨が押しつぶされて変形してしまい、背中が丸くなるだけでなく、さまざまな健康被害や死亡リスクを引き起こします。

例えば、姿勢が悪くなることは、胸焼けや逆流性食道炎を招き、それにともなって、肺活量や食事量が減少し、全体的に健康状態が悪くなっていきます。そして健康状態の悪化は骨密度の低下を招き、骨折のリスクをより高めます。さらに神経まひが生じると、寝たきりの生活になってしまう可能性も出てきます。

骨粗鬆症による骨折は、再発することがとても多いので、早めの改善が重要です。

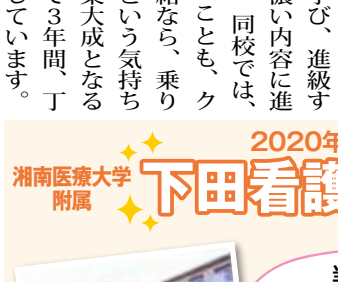
Q. 治療や予防は、どのようなことを行なうのですか？

A. 当院（ふれあい東戸塚ホスピタル）では、骨粗鬆症の治療・予防のために、X線検査のほか、リハビリや栄養指導などを行なっております。また、医療グループに所属していることから、急性期病院などでの治療の必要性が生じた際には、円滑なご紹介ができます。

実際には、整形外科を初めて受診される患者さまの8割以上は、そこまで特別な治療を必要とせず、当院では患者さまにご安心いただくために「心配ありません、きちんと治療すれば治りますよ」というお声掛けと、丁寧な説明を心掛けております。

整形外科の疾患は、痛みを放置せず、早めに改善していくことが大切です。頭・肩・肘・手関節・手・指・背中・腰・股関節・足関節・足などに、「痛い」「痺れる」といった症状をもたれている方は、当院へお気軽にご相談ください。

〈取材協力〉


ふれあい東戸塚ホスピタル

医療法人社団 健齢会 **ふれあい東戸塚ホスピタル ☎045-827-2637**

整形外科 受付

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~11:30	●	—	—	●	● 黒沢Dr.	—
午後 13:30~16:30	—	● 黒沢Dr.	—	—	—	—

アクセス
JR東戸塚駅 西口から 無料シャトルバスまたは徒歩15分

横浜市戸塚区上品濃16-8

キリトリ

骨粗鬆症の予防対策

食事

骨の形成に必要な成分を摂取！
日常的な献立に取り入れましょう。

- ビタミンD：卵・鮭・サンマ・カレイ・キクラゲ・椎茸など
- ビタミンK：キャベツ・ブロッコリー・ニラ・ホウレンソウ・納豆・小松菜など
- カルシウム：乳製品・小魚・大豆製品・小松菜・チンゲンサイ・干しエビなど

運動

骨を丈夫にさせるために
日光を浴び、運動をしましょう。

- 紫外線を浴びることで、皮下でビタミンDを生成
- 骨に負荷をかけることで、骨を作る細胞が活発化

目安として、1日2㎞程度の散歩や家事、ラジオ体操など、軽い運動を定期的に行なうことを心掛けましょう。

キリトリ

医療事務・介護福祉・ホテル業界へ 第一歩を踏み出そう！

医療ビジネス観光福祉専門学校

JR町田駅から徒歩1分にある「医療ビジネス観光福祉専門学校」は、医療事務／IT／介護福祉／ホテル／ブライダルの各分野におけるエキスパートを育成している専門学校です。

来春入学に向けた説明会では、「専門学校ってどんなところ？」という人から、「介護福祉士になりたい！」という具体的な目標をもつ人まで、それぞれが楽しめる内容を用意しています。まずは実際に足を運び、丁寧な説明から校風を体感してみては。

バラエティ豊かな **オープンキャンパス**に行こう！

※各開催日は変更になる場合がございます。ご来場前にHPで必ずご確認ください。

体験入学+AOエントリー説明会 5/30(土) 10:00~12:30
エントリーシートの書き方、面談・適性検査など、AO入試の秘訣を伝授!!模擬授業もあり!

体験入学 6/6(土) 10:00~12:30
各学科の特徴、入試・学費の説明のほか、模擬授業を体験できます

スペシャル オープンキャンパス 6/13(土) 10:00~13:00
卒業生や在校生が実際に学校生活や就職についてお話しします。職場見学もあり!

個別相談会 6/27(土) 10:00~12:30 先着5名限定!
知りたい・聞きたい内容を、1対1形式でじっくりお話して疑問を解決♪

問合せ 医療ビジネス学科／観光学科／介護福祉学科
医療ビジネス観光福祉専門学校
神奈川県相模原市南区上鶴間本町3-18-27
☎042-744-9711
http://www.mbsi.ac.jp
小田急線町田駅 JR町田駅 ココ 小田急町田駅からは徒歩4分

「介護職員初任者研修」締切り間近!!

ふれあい医療福祉研修センター

介護の基礎知識から応用技術までを学ぶ介護の入門的資格「介護職員初任者研修」の受講生を募集しています。

通信形式で6月から始まり、週1回・全17日間で資格が取得できます。介護実習もカバーしているので、現場で必要な即戦力も養えます。

資格取得後は、就職支援があり、嬉しい「キャッシュバック制度」も！申し込み時には「ペア割引」があるので、詳細は下記へご確認ください。

介護職員初任者研修

期間 6月4日(木)~10月1日(木) 計17日間（週1回ペース）
スクーリング 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 別館3階「演習室」（JR茅ヶ崎駅から徒歩18分）
締切 5月28日(木)
受講料 60,000円（税・テキスト代込）
定員 20名 ※申込み先着順
特典 就職キャッシュバック制度 受講料ペア割引など
申込み 所定の申込書（HPからダウンロード）にご記入の上、次のいずれかの方法でご送付ください。または、HP入力フォームからお申し込みください。
FAX 0467-84-5966
メール fureai-kensyu@fureai-g.or.jp
郵送 茅ヶ崎市南湖1-6-11 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校内 学校法人 湘南ふれあい学園「ふれあい医療福祉研修センター」宛

問合せ **ふれあい医療福祉研修センター**
〒253-0061 神奈川県茅ヶ崎市南湖1-6-11（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校別館）
☎0467-84-0576
新湘南バイパス ココ 茅ヶ崎駅

「湘南医療大学附属校」として新スタート

湘南医療大学附属 下田看護専門学校

静岡県下田市にある「下田看護専門学校」では今春、17期生が入学しました。同校は、これまで多くの看護師を輩出してきましたが、今年度からは湘南医療大学（神奈川県横浜市戸塚区）の附属校として新しくスタートしています。

看護や医療に関する専門的な知識と技術を学び、進級するにつれて深く濃い内容に進んでいきますが、同校では、「一人では難しいことも、クラスメイトと一緒なら、乗り越えられる！」という気持ちを大切に考え、集大成となる国家試験に向けて3年間、丁寧な指導を実施しています。

2020年4月より 湘南医療大学附属 **下田看護専門学校** になりました!

当校では、「なりたい」という気持ちを大切にしています。「看護師になりたい」と思う方は、ぜひ一度、学校の見学や定期的に開催している説明会においでください。当校の学生が、看護師を目指して頑張っている姿に出会えると思います。

学校見学は随時受付中！
説明会の日時など、お気軽にお問合せください♪

教職員より

※イベント開催時は、伊豆急下田駅から送迎バスがあります。是非ご利用ください。

問合せ 湘南医療大学附属
下田看護専門学校
静岡県下田市柿崎289
☎0558-25-2211
http://www.shimodakango.ac.jp
伊豆急下田駅から バス停「上の山」下車（駅から徒歩で10分）

健康生活お役立ち新聞

横浜版

2020年5月

No.46

発行所　(有)エフ.アンド.ユアライフ　〒253-0084 茅ヶ崎市円蔵370-20　電話(0467)58-5678

脳卒中と認知症は、事前に予測できる!?

「脳ドック」検査の重要性

日本人は、脳卒中の発症が多く、当然、その後遺症に悩まされている人や介護をする人の数は増加しています。突然発症するように見える脳卒中でも、実は専門検査で発症リスクがわかるのです。

寝たきりの原因でもある

日本は世界的に見ても、「脳卒中」(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)の発生率が高く、患者数は全国で約111万人にもなります。死因としても国内では3番目に多く、1年間の死亡者数は約10万人にも上ります〈厚労省2017年統計〉。

脳卒中を発症し、命をとりとめたとしても、半身まひや、言語障害などの重い後遺症が残る可能性があります。そうなると、長期間にわたって家族や専門スタッフの介護を受けることになり、その精神的・経済的な負担は、とても大きいものです。

65歳以上が「寝たきり」になった原因で最も多いのは脳卒中であり、65歳以上の「疾患別医療費」においても、脳卒中の費用が占める割合は上位になっています〈同省2016年・2017年統計〉。

まだ無症状の腫瘍も発見

「脳ドック」では、脳血管の状態(狭窄、動脈瘤など)や、先天性奇形などのほか、まだ症状が出ていない腫瘍・梗塞の有無などを調べることができます。検査によって、将来、脳卒中を起こす危険度がわかり、予防策を講じることができます。

特に「脳腫瘍」は、検査によって、症状がまだ出ていない小さな状態のうちに発見できるので、早めの治療につながるとても有効な検査です。また、脳の状態をみることは、認知症の予測にも役立ちます。

健康を維持し、不安のない明るい老後を送るために、脳を専門的に検査する「脳ドック」は、現代社会に欠かせないものになってきています。

こんな症状は、一度「脳ドック」を!

- 頭痛
- めまい
- 耳鳴り
- もの忘れ
- 手足のしびれ
- 言葉のもつれ
- 高血圧
- 糖尿病
- メタボリックシンドローム
- 肥満
- 中高年の喫煙者
- 心電図異常(心房細動など)

家族に「脳出血」「くも膜下出血」などの病歴がある方も検査を受けましょう。

ふれあい鶴見ホスピタル

3コースから選べる「脳ドック」を提供

ふれあい鶴見ホスピタルでは、脳神経外科医、神経内科医、リハビリ専門医などが連携し、脳や神経の病気に重点を置いた診療を行なっています。同院の脳ドック検査や外来診察を紹介します。〈取材協力〉

脳神経外科
石井 映幸 副院長

■脳簡易検査コース〈約30分〉

脳簡易検査コース+採血・超音波検査を実施。「日本脳ドック学会・脳ドックガイドライン」にほぼ準拠し、より詳細に調べるコースです。

■脳ドック・Aコース

一般的なMRIの各種撮影法とMRAを組み合わせ、動脈硬化症の変化、微小梗塞、微小出血などを検査します。

脳神経外科
土屋 喜照 外来医長

■脳ドック・Bコース

Aコース+認知症検査をセットにした同院オリジナルの内容で、もの忘れが気になる人におすすめの検査です。

▽頭痛専門外来

中枢神経(脳・脊髄)の異常、末梢神経や筋肉の異常にともなう痛みを専門に評価して、神経内科医が治療しています。頭痛のほか、しびれや歩行障害なども対象です。

▽リハビリテーション外来

脳血管障害、頭部外傷、関節痛、リウマチ、脊髄損傷、四肢切断、神経疾患などで運動機能が低下している病状や、日常生活に支障がある状態に対するリハビリを行なっています。外出・自宅での機能訓練、生活環境に関する助言、使用する福祉用具なども提案しています。

▽物忘れ専門外来

もの忘れの原因には、正常加齢と、病的認知症の初期段階があり、その鑑別を実施しています。さらに、認知症と間違われやすい「水頭症」「慢性硬膜下血腫」「うつ病」「甲状腺機能低下症」との判別なども、脳神経外科専門医が専属で診断しています。

※ふれあい鶴見ホスピタルには、「脳神経外科」の一般外来診察もあります。脳や神経に関する相談は、ぜひ同院へ。

同院☎045・586・1717／鶴見区東寺尾4の4の22

誰もが気になる検査の実態

胃カメラの形状と検査員について

太さ1cm程のスコープ

「内視鏡」とは、太さ1cmほどの細長い管に小型カメラ(CCD)またはレンズを内蔵したものです。「内視鏡検査」では、上部の場合は、この管を口または鼻から挿入して食道・胃・十二指腸の内部、下部の場合は肛門から挿入して大腸の内部を観察します。

▲ファイバースコープ付き胃内視鏡

▶下部内視鏡で撮影した大腸の様子(正常な状態)

検査だけでなく治療も

医療機器や技術の発達によって、内視鏡の応用範囲は広がり、以前に比べて診断から治療まで、スムーズに実施されるようになっています。

内視鏡スコープの種類により、長さや太さに多少の差はありますが、実際に内視鏡を操作して患者の体内へ挿入し、診断および治療を行なうのは、担当の医師です。

内視鏡室内では、医師のほか、看護師や内視鏡技師(臨床工学技士・診療放射線技師・臨床検査技師)なども参加して、サポートを行ないながら、検査や治療をしています。

関内駅徒歩3分にある「ふれあい横浜ホスピタル」では、消化器系の診療体制が整っており、胃や大腸の検査から治療までを一貫して行なっています。内視鏡について、担当者にお話を聞きました。

検査から治療まで内視鏡で一貫して実施

ふれあい横浜ホスピタル・消化器内科

Q.「内視鏡」とは、よく「胃カメラ」と呼ばれているものと同じものですか?

A.はい。一般的には「胃カメラ」と呼ばれることが多い内視鏡ですが、観察する部位によって、胃(「胃内視鏡」)のほか、「食道鏡」「十二指腸ファイバースコープ」「大腸内視鏡」「気管支鏡」などがあり、それぞれ管の太さが少しずつ異なります。

Q.では、その内視鏡を使った検査とは、どのようなものかを教えてください。

A.内腔を有する臓器の中に、先端にカメラを装填した管(ファイバー)を挿入します。この管は、屈曲が自由で柔らかいので、口から食道、胃、十二指腸へ進み、または口から声帯を介して気管、気管支の内腔を観察できます。肛門からは大腸へ進みます。

内視鏡検査の主な目的は、内腔面を覆う粘膜の変化を見つけ、その粘膜の一部をつまみ取り(生検)、顕微鏡で観察して粘膜を構成する細胞の性格がよいか(良性)、悪いか(悪性=がん)を判定することにあります。

Q.では、人間の臓器の中で、消化器の「がん」を調べることができるのですね?

A.はい。内視鏡検査では、微少ながんを早期に発見することができます。さらに内視鏡は、検査だけでなく、微少がんを見つけたら、そのがんの部分を含めて粘膜を切除する治療もできます。

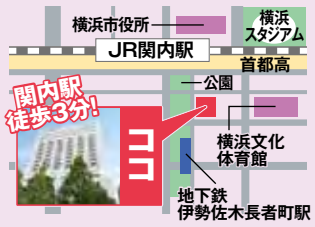
ふれあい横浜ホスピタルでは、消化器の診療および内視鏡検査に力を入れておりますので、ご不安を抱えている方は、お気軽にご相談ください。〈取材協力〉

ふれあい横浜ホスピタル
☎045-681-5101
横浜市中区万代町2-3-3

消化器内科　▲2・4・5週

受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	—	●	—	▲	—	—	—
午後 13:00~17:00	●	●	●	▲	—	●	—

*内視鏡検査は、消化器内科の診察後に必要性に応じて実施します。



2020年4月1日リニューアル開院

医療法人社団 康心会
ふれあいグループ
茅ヶ崎中央病院
茅ヶ崎市茅ヶ崎2-2-3　☎0467-86-6530(代)

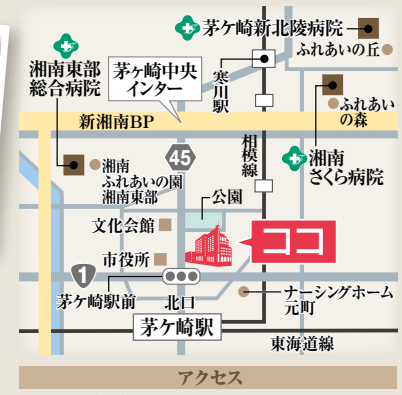
診察　月~土【午前の部】9:00から【午後の部】14:00から
24時間365日対応の救急外来
茅ヶ崎中央病院　検索

診療科目
■総合診療科　■循環器内科
■人工透析内科　■放射線科
■外科　■消化器外科
■整形外科 NEW
■脳神経外科 NEW
■耳鼻咽喉科　■眼科　■皮膚科
■リハビリテーション科

設置機関等
■「サイバーナイフセンター」
■「聴覚・人工内耳センター」
■「腫瘍検査センター」(PET−CT)
■「内視鏡センター」(上部・下部)ほか

▲サイバーナイフでの放射線治療(イメージ)

がんを的確にとらえる▶PET-CT



アクセス
JR東海道線・茅ヶ崎駅北口から徒歩5分
国道1号の信号「茅ヶ崎駅前」交差点すぐ